

## 北陸電力グループの事業体制再構築について

平成12年6月30日  
北陸電力株式会社

当社は、部分的な小売り自由化や連結主体の決算への移行等の新たな経営環境に対処するため、北陸電力グループの総合効率向上と収益拡大を図る観点から、100%子会社を中心に事業体制の再構築を行うことにいたしましたので、ご案内いたします。

### 1. ねらい・目的

- a. 子会社の主たる機能を従来の「電気事業の補完」から「市場開拓」に転換。
- b. 子会社との取引における市場原理の徹底。
- c. グループトータルでのより効率的な業務処理体制の構築。

### 2. 内容

#### (1) 100%子会社の業務分類と再編

以下100%子会社8社の事業内容を競争市場向け業務（フロンティア業務）と電気事業補完業務（パートナー業務）の2つに分類し、再編を行います。

#### a. 対象会社

北電テクノサービス(株)、北陸発電工事(株)、北陸アーバン(株)  
北電アルフ(株)、北電産業(株)、北電情報システムサービス(株)  
北電営業サービス(株)、日本海環境サービス(株)

#### b. 再編内容

- ・対象会社のパートナー業務を、平成12年8月以降、順次分離し、フロンティア業務を担う各社は、新たな経営理念のもと、新規市場開拓を行い、収益の拡大に努めます。
- ・分離されたパートナー業務は、北電アルフ(株)に集約し、同社において効率的に実施することといたします。

#### (主なパートナー業務)

- ・火力・原子力発電設備の付帯装置の運転・保守
- ・送電線・配電線等の巡視・保守
- ・PR施設・研修施設等の運営管理
- ・当社が所有または賃借する土地・建物等の管理

c . 北電アルフ(株)の定款(社名および事業目的)の変更

パートナー業務の移管先である「北電アルフ(株)」(本社:富山市、社長:成田尚武)の事業目的を拡大し、社名を平成12年7月1日より「北電パートナーサービス(株)」に変更いたします。

(2) 管理間接業務の集中化

a . 会計業務

当社および子会社に共通する会計業務を、効率化や専門性向上を図る観点から、平成12年7月より以下の子会社を対象に当社で集中処理いたします。なお、対象会社は、今後、順次拡大いたします。

北電テクノサービス(株)、日本海環境サービス(株)、  
日本海発電(株)、(株)ジェスコ

b . 資金業務

これまで、北電アルフ(株)においてグループ会社間での資金融通を実施して参りましたが、さらなるグループ内資金の有効活用と資金コストの低減を図る観点から、平成12年度中に、以下の子会社を対象に、キャッシュ・マネジメント・サービス(CMS)を導入し、資金運用・管理業務を集中化いたします。なお、対象会社は、今後、順次拡大いたします。

富山共同火力発電(株)、福井共同火力発電(株)、日本海発電(株)  
北電テクノサービス(株)、日本海環境サービス(株)  
北電パートナーサービス(株)

キャッシュ・マネジメント・サービス(CMS)

グループ会社各社の資金をグループ金融統括会社に集中させ、グループ間で融通することにより、資金効率の向上を図るもの。

(3) 北電アクト(株)の発足

「北電営業サービス(株)」(本社:富山市、社長:佐伯有正)については、配電線保守業務等を分離し、電気温水器・クッキングヒーター等の200V機器の普及拡大に特化していくことから、社名を平成12年7月1日より「北電アクト(株)」に変更いたします。

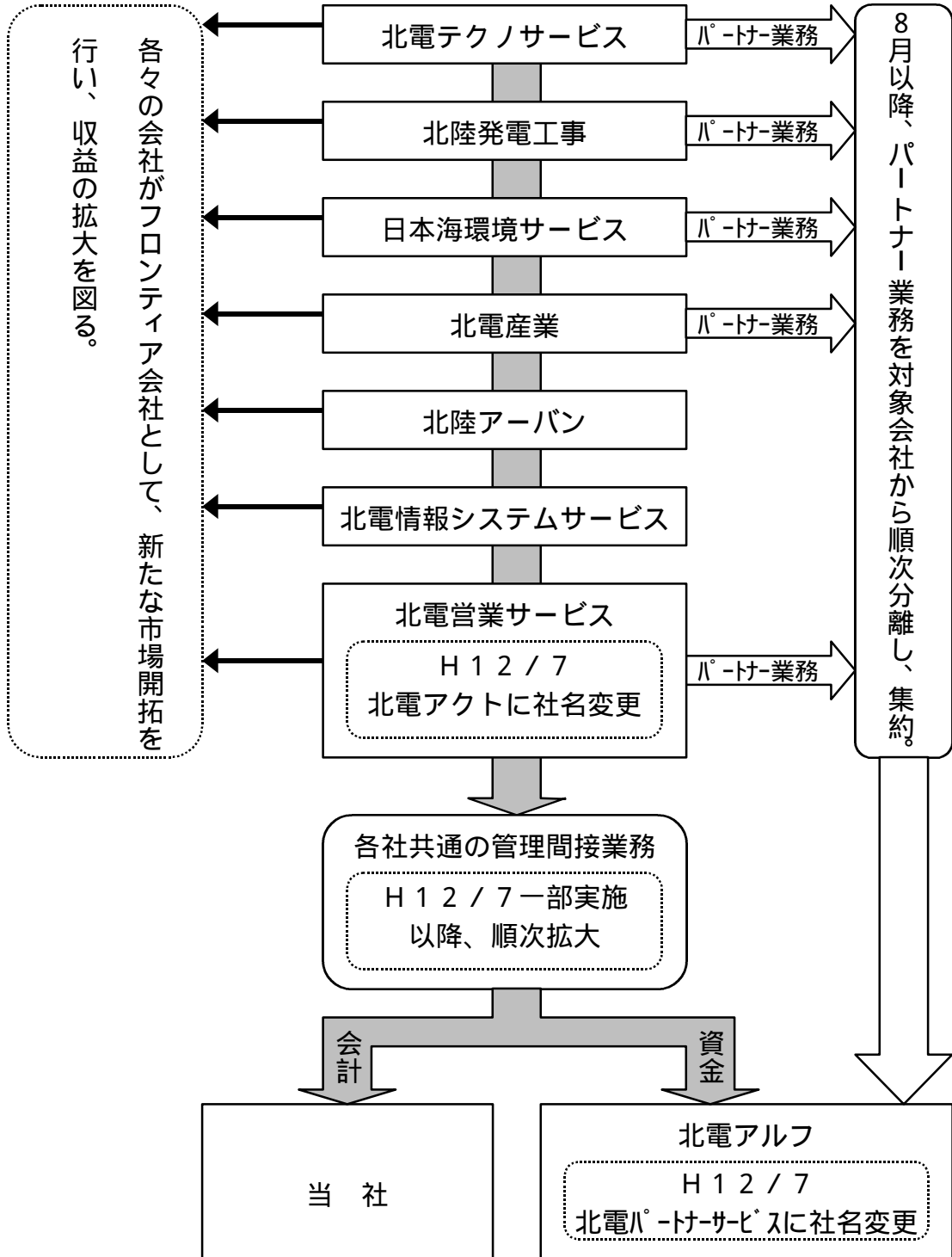
新社名は、快適な暮らしを創造する会社としての Amenity Createの略称と、Act(行動する)の両方の意味を兼ねたものです。

以 上

## 北陸電力グループの事業体制再構築（概要）

### ねらい・目的

- a. 子会社の主たる機能を従来の「電気事業の補完」から「市場開拓」に転換。
- b. 子会社との取引における市場原理の徹底
- c. グループトータルでのより効率的な業務処理体制の構築。



### 主なパートナー業務

- ・火力・原子力発電設備の付帯装置の運転・保守
- ・送電線・配電線等の巡視・保守
- ・当社が所有または賃借する土地・建物等の管理
- ・PR施設・研修施設等の運営管理